

塩飽・高見島と佐柳島の歴史と民俗 資料目録

企画展タイトル 「忘れられないふるさとの風景と歴史・民俗」

・・・ 塩飽・高見島と佐柳島にスポットを当ててみて・・・

「忘れられない風景がある。

いつまでも残したきものがあり、

そして、伝えたい事がある。

人々は知恵を出し合って今日まで生きてきた。

生きてきたその経験を活かしてきた。

戦いもあり、みにくい殺戮もあり、

苦しく辛いそれは哀しい時代もあった。

そんな中、私たちは豊かさを求め、安らぎを求め、

笑いを求めて互いに生きてきた。

それなのに今・・・・・・・・

失いかけているふるさどがある。

海に沈んでいくのではないかと思われるような

高齢化と過疎化の進んだふるさとの島がある。

時は流れ潮もながれて

2008. 5. 5 市朗」

1. 高見島・佐柳島の風景コーナー

門脇俊文氏の水彩画「暖かき伝説を育くむ島」

航空写真「高見島 浦の集落」

辻一磨スケッチ 讃岐の津々浦々（多度津の港・瀬戸の高台高見島・花の佐柳島）

町並み写真集

日本の町並み10 四国編「笠島と高見島」（青山賢信 他）

高見島伝統的建造物群調査報告書（多度津町教育委員会）

香川県の近代化遺産（建造物等）総合調査報告書（香川県教育委員会）

一枚の絵葉書「除虫菊の咲く高見島」

里山に遊ぶ

時代をつなぐ写真 「山下岩吉と幕府オランダ留学生」「瀬戸の花嫁」「ブラジル移民」

讃岐の町並み・家並み写真集（香川県文化財保護協会）

瀬戸内海の島々「津島佑子 本島・高見島の旅」「10年ぶりの佐柳島 吉田知子」

島で遊ぼう！！

民話 大橋のみえる風景 (池原昭治)
讃岐の絵本 () 「こっちょ鳥の話」
童話 さぬきのころ () (四国新聞切抜き)
香川の葉草 (四国新聞社)
ラパン98 9月号「塩飽の島々へじぐざぐ航路旅」
映像に残る風景「瀬戸内少年野球団」・「男はつらいよ 寅次郎の縁談」「機関車先生」
「あの空の果てに星はまたたく」
地に満つる愛 (竹田敏彦) 主人公高見島の農業普及員と陸稲栽培
あるく・みる・きく NO.242 特集塩飽の島じま
ライト&ライフ 1999. 7 NO.463
るるぶ瀬戸内の島々
るるぶ香川
港・みなと町 (四国新聞社編)
源平の舞台はいま (読売新聞高松支局)
新讃岐の文学散歩
客たち
うたの讃岐路 (阿津秋良)
讃岐ふるさと新紀行 (山陽新聞社)
四国の風
讃岐の歴史と文化の散歩道 (善通寺・仲多度地区)
路上探検隊讃岐路をゆく
歴史の町なみ 中国・四国・九州・沖縄篇
時実新子のじぐざぐ遍路
香川の散歩道 (勝本倫生)
四国八十八ヶ所霊場めぐり切り絵集 (萩原幹生)
週刊四国遍路の旅 「ころのふるさと」を歩く
万葉の歌 人と風土 (中国・四国)
ふるさとスケッチ散歩 香川の歴史・民俗フィールドノート (市原輝士)
さぬき歴史暦 タカミシマインセキ
高見島の文化財 (西山保・斎部和寿)
多度津文化財
香川県の文化財
518人の卒業生と教師たち (高見中学校)
文化財保護協会報・特別号
ずいひつ遍路宿 特集瀬戸内の島ほか

2. 高見島・佐柳島の民俗コーナー

茶粥を食べる島

両墓制の島

加子の島と漁業の島

真言宗の島

猫のいる島

瀬戸内海島嶼巡訪日記

香川の民俗

四国民俗

瀬戸内 創刊号・3・5号

さぬき瀬戸の島々 24の島物語

瀬戸内・高見島の生活誌（国際基督教大学）

瀬戸内海島嶼社会の記録（明治大学）

本四架橋に伴う島しょ部民俗文化財調査報告

日本人の死霊観（武田 明）

香川の薬草

海の聖地 金毘羅

香川県の諸職

佐柳ふるさとの会文集

佐柳島・志々島昔話集（武田 明）

さぬきのおもしろ伝説（北條令子）

武田明文庫目録

讃岐風土記（草薙金四郎）

十八人の墓 備讃瀬戸漁民史（角田直一） 小阪騒動と高見島の粉引き唄

兔の耳（神津 陽） 和霊信仰

志々島の話

さぬき詫間の民話

探訪神々のふる里 出雲と瀬戸内の神々 吉備のオンザキサン

讃岐の雨乞い踊調査報告書

多度津の地名

瀬戸内海歴史民俗資料館総合案内 高見島のエーベッサン

香川県の民謡

日本の子守唄（松永伍一） 塩飽の子守唄

瀬戸内海をクジラが泳いだ

消えゆくふるさと

連鎖の崩壊

写真で見る香川の歳時記365日（四国新聞社）

香川の冠婚葬祭（ 〃 ）

海の伝説

私の日本地図 瀬戸内海Ⅳ 備讃の瀬戸付近（宮本常一）

ぶらり讃岐の民話とむかし話

讃岐の民俗芸能

讃岐の民話

3. 高見島・佐柳島の歴史コーナー

瀬戸内海における塩飽海賊史（真木信夫）

咸臨丸渡米日記

咸臨丸と塩飽諸島（木村秀雄）

咸臨丸と讃岐（真木信夫）

幕府軍艦咸臨丸（文倉平次郎）

咸臨丸海を渡る（土居良三）

咸臨丸還る（橋本 進）

咸臨丸太平洋を渡る

勝海舟と幕末長崎

小杉雅之進が描いた 箱館瀬戦争

幕府オランダ留学生（宮永 孝） 高見島の山下岩吉と瀬居島の古川庄八

海難史話（渡辺加藤一） 第三大信丸遭難事件

桑港にて（植松三十里） 主人公咸臨丸水夫の高見島の吉松

黍の花ゆれる（〃）

お龍（〃）

島びと20世紀（四国新聞社）

咸臨丸子孫の会塩飽訪問（写真他）

香川県史

仲多度郡史

多度津町史・多度津町誌

新修丸亀市史・新編丸亀市史

高見島庄屋文書

朱印状の写し・1600年前後の塩飽船方・尾嶋持分についての相論・

往来手形にみる五島表への鯨船・寛政元年の訴状 塩飽七島の御除地の由来書・

天明三年の連判状と天明八年の差出帳等

塩飽佐柳島庄屋 中屋古文書集（佐柳ふるさとの会）

瀬戸内の海事史資料調査報告（3）

塩飽史談会資料（写真他）

港町の原像 中世港町・野原と讃岐の港町

塩飽の島びとたち（よねもとひとし）

江戸時代人づくり風土記（香川）

香川歴史散歩

郷土史事典 香川県 西郷隆盛と入水した勤皇僧月照 母は高見島の娘お久

銭形の謎 寛永通宝と塩飽水軍

香川県の地名（平凡社）

遣唐使全航海（上田 雄）